



ら空挺人気は相変わらずです。
さて、「降下訓練始め」は先
ず例の如く指揮官の降下と防衛
大臣の年頭訓辞に引き続き、チ
ヌークやヒューイ、戦闘ヘリ・
コブラにアパッチの飛行展示と
順調に進行して行きましたが、
何と言っても一番の見所は、澄
み渡った青空を埋め尽くすよう
に、C-119から次々舞い降りて
来る降下部隊の勇姿でした。観
衆の目を一瞬に惹き付けてしま
うその壮大で長閑な光景は、当
に年頭に相応しい空の一大スペ
クタクルです。

無論私もうつつり見惚れ
てしまった一人ですが、ふと我
に返り、改めて平和である事の
尊さをしみじみと思い知らされ
たシーンでもありました。

昨年は、北の暴拳に脅かされ、
真に安全保障の在り方を問い突
き付けられた一年でしたが、穏
やかな新年を迎えたとは言え、
依然事態は深刻です。むしろ国
連の制裁強化次第では、何時不
測の事態が起こるやも知れぬ緊
迫した状況にある事を肝に銘じ
ておかなければなりません。

どうやら、今年も自衛隊の皆
さんには、引き続き万難を排し、
この難局に立ち向かって頂かな
ければならないようです。どう
か健康に留意され、自衛隊の真
髓を存分に発揮され、奮闘され
ん事を心より願う次第です。

H30年1月23日編集部吉田

